

## ヨコハマトリエンナーレ 2014 について



### 1 開催概要

- (1) 展覧会名称 ヨコハマトリエンナーレ 2014  
「華氏 451 の芸術：世界の中心には忘却の海がある」
- (2) 会 期 平成 26 年 8 月 1 日 (金)～11 月 3 日 (月・祝)  
開催日数：89 日間 ※休場日：第 1・3 木曜日 (計 6 日間)
- (3) 会 場 横浜美術館、新港ピア (新港ふ頭展示施設)
- (4) 開場時間 10：00～18：00 (一部の土曜日は 20：00 まで開場)
- (5) 主 催 横浜市、(公財)横浜市芸術文化振興財団、NHK、朝日新聞社  
横浜トリエンナーレ組織委員会

### 2 開催準備状況

#### (1) 作家の選定状況

既に以下の 7 名の作家は発表済みです。その他の作家は、4 月下旬に発表予定。

《参考：ヨコハマトリエンナーレ 2011 作家数 77 組 79 作家》

《参考：発表済みの出展作家》

作家名
マイケル・ランディ
メルビン・モティ
グレゴール・シュナイダー
高山 明
和田 昌宏
やなぎ みわ
釜ヶ崎芸術大学



マイケル・ランディ  
《Art Bin》2010  
サウス・ロンドン・ギャラリーでの展示風景



やなぎ みわ  
台湾の移動舞台車  
Photo: YANAGI Miwa

#### (2) まちにひろがるトリエンナーレ

創造限界拠点や地域、市民の皆様との協働により、来場者の回遊性を高め、まち全体の賑わいを創出します。

##### ア 創造限界拠点連携

5 つの創造限界拠点が、トリエンナーレ期間に合わせアートプロジェクトを実施。

象の鼻テラスでは障害者とアーティストが協働で作品を制作する「ヨコハマ★パラトリエンナーレ」を実施。

##### イ 応援企画

以下の募集を行い、会場でのグッズ販売や広報連携を実施。

- ・ ヨコハマトリエンナーレ 2014 のロゴを使用した「応援グッズ」
- ・ 文化芸術をテーマに活動している団体等が開催するイベントや企画

(3) 市民協働

横浜トリエンナーレサポーターによる開催期間中の主な活動

区分	活動内容
【新規】	ギャラリー・ツアー (作品鑑賞ツアーガイド)
【拡充】	ビジターセンターの運営 (会場周辺情報などの提供) 《参考：ビジターセンターの設置数》 ヨコハマトリエンナーレ 2014 2会場(横浜美術館・新港ピア) ヨコハマトリエンナーレ 2011 1会場(横浜美術館)
【継続】	団体鑑賞者への事前ガイダンス (見どころや注意点などの説明)

《参考：サポーター登録者数の推移》

第1回(2001)	第2回(2005)	第3回(2008)	第4回(2011)	第5回(2014)
719人	1,222人	1,510人	940人	1,241人※

※平成26年3月6日現在の登録者数

(4) 教育プログラム

今回展においても次世代育成のプログラムを実施します。

教育委員会と連携し、市立の小学校・中学校・高校・特別支援学校に校長会を通して、以下の各プログラムを周知します。

ア 学校団体鑑賞

多くの子どもたちが現代アートに触れる機会を創出するために、鑑賞を希望する学校団体を募集。

《参考：ヨコハマトリエンナーレ2011団体受入 105校 5,276人》

イ 「ヨコハマトリエンナーレ2014・夏の教室」【新規】

中学生や高校生が小学生高学年を対象にした作品鑑賞プログラムを企画・実施。

- ・中高生のためのヨコトリ教室 (中学生、高校生対象)

日程：5月～10月のうち11日間(予定)

募集人数：20名

- ・ヨコトリ号こども探検隊 (小学生高学年対象)

日程：①8月18・19日 ②8月24・25日

募集人数：各回20名

3 今後のスケジュール

3月下旬 ・横浜トリエンナーレ組織委員会 総会  
【ヨコハマトリエンナーレ2014開催内容決定】  
(内容) 出展作家、展示計画、チケット概要、  
まちにひろがるトリエンナーレの内容 など

4月下旬 ・第4回記者発表  
・チケット前売券発売開始  
・トリエンナーレ開催100日前イベント (サポーター事業)

8月1日 ・ヨコハマトリエンナーレ2014開催  
～11日3日